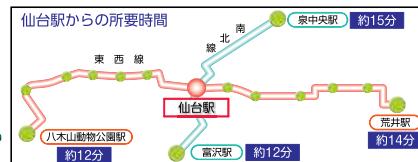


仙 台 駅



① 駅周辺地区の現況

- 東北の中核都市「杜の都仙台」の玄関口であり、JR各線、地下鉄南北線が結節する本市最大の交通拠点です。駅周辺には様々な商業・業務機能が集積しています。
- 駅周辺一帯は、容積率が500~800%の商業地域に指定されています。



② まちづくりの目標

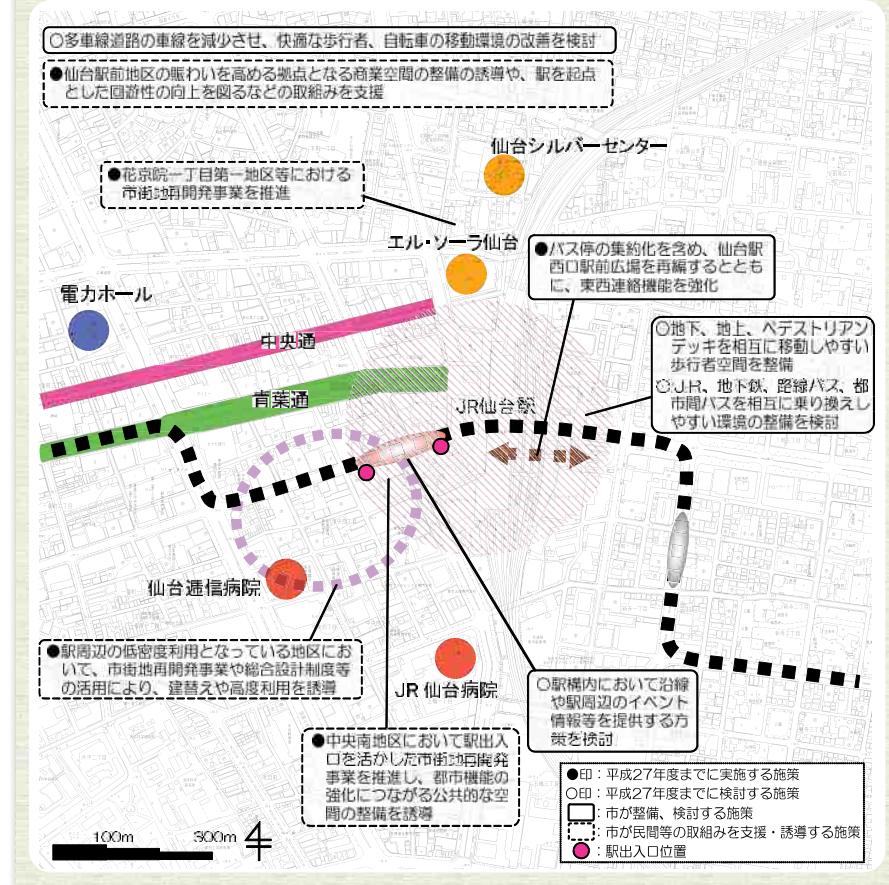
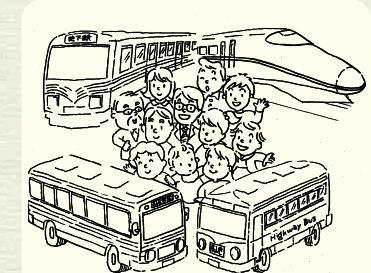
東北の発展を牽引する都市機能を備えた、杜の都仙台の玄関口となる街の形成

- 駅出入口を活かした再開発事業の推進や魅力ある商業空間の整備の誘導などにより、東北の中核都市にふさわしい都市機能を備えた駅前地区の形成を目指します。
- JR、地下鉄、路線バス、都市間バスの乗り換え機能の強化、仙台駅西口駅前広場の再編、多様な歩行者ネットワークの整備等により、便利で利用しやすい公共交通体系を形成するとともに、歩いて楽しいまちなか空間の形成を目指します。
- 景観計画に沿った建築物や街並みと調和する屋外広告物について、きめ細かな誘導を行うことにより、市内外から多くの人が訪れる仙台駅前地区において、「杜の都」の顔となる魅力的な景観の形成を目指します。

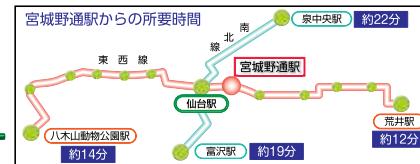


③ 目標の実現に向けた施策

- 東北の中核都市にふさわしい都市機能を備えた駅前地区の形成
- 都心の魅力と回遊性を高める交通環境の形成
- 仙台の玄関口にふさわしい街並み景観の形成



宮城野通駅



① 駅周辺地区的現況

- 駅周辺は、都市基盤が整備された業務地が形成され、東側には寺町が広がっています。
 - 駅北側は、仙台の新しい玄関口となるJR仙台駅東口とそこからコボスタ宮城につながる宮城野通に接し、東側には多くの社寺等が立地しています。
 - 駅周辺一帯は、容積率が400~600%の商業地域に指定されています。

② まちづくりの目標

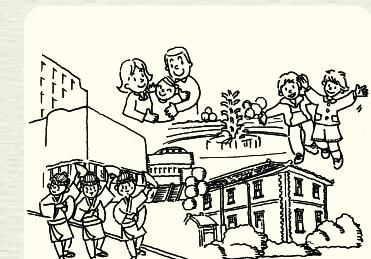
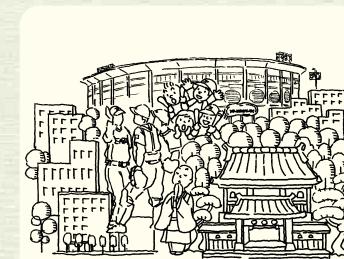
ビジネス、暮らし、寺町の歴史が共存する、都心の東の玄関口となる街の形成

- 駅周辺では、仙台駅東口駅前広場の整備、マンションや商業施設等の複合開発など基盤整備が進んでいます。また、東北楽天ゴールデンイーグルスの試合開催の際には大勢の観客であふれ、音楽ライブに市内外から多くの観客が集まるなど、仙台駅東地区は多様な魅力を持った交流の街へと大きく変化を遂げています。このような変化をふまえ、仙台駅西口・東口地区の連絡機能の強化、駅周辺の低密度利用地の高度利用、仙台駅東第二土地区画整理事業の推進、寺町としての歴史資源の活用などにより、都心の東の玄関口となる個性ある街の形成を目指します。



③ 目標の実現に向けた施策

- 都心の東の玄関口にふさわしい高度利用と都市機能の強化
 - 仙台駅東口の賑わいや魅力の創出と回遊性を高める交通環境の形成
 - 美しい街並み景観の形成
 - 多様な世代が安心して快適に暮らせる街の形成



○新旧居住者が一体となる地域コミュニティが円満形成されるよう、地域住民等による取組みを支援

仙台駅東第二地区にかけて、
一帯にわたり

- 仙台駅東西連絡機能を強化**

●仙台駅東第二地区では、「暮らしやすく活気あふれる街」をまちづくりの将来像と位置付け、住民主体のまちづくり活動を支援

●仙台駅東第二地区では、地区計画等を導入し、地区の特性に応じた良好な市街地形成を誘導

●宮城野通沿道マーケット等を通じた、されるような舞台的な景観形成を誘導

○駅周辺の低密度利用地区において、仙台駅東第二地区画整理事業と一緒に都心地区を形成するため市街地再開発事業や総合設計制度等の制度利用を促進し高度利用を誘導

○近隣の公共施設等を活用し、地域と共に楽しむ健康づくり事業を推進

○新寺縁道の活用を図り、駅とJR仙台駅東口、宮城野通沿道地区、寺町、コボスター宮城などと結ぶ賑わいにあふれ歴史性を感じられる回遊ルートの形成を検討

印: 平成27年度までに実施する施策

○印: 平成27年度までに検討する施策

□印: 市が整備、検討する施策

■印: 市が民間等の取組みを支援・誘導する施策

●印: 駅出入口位置

100m 300m 4